富岡まちづくりセンター・所沢図書館富岡分館・特定非営利活動法人みんなのひろば ３者連携事業

富岡地区の「子どもの居場所づくり」を目的としたプロジェクト

学校でも家でもない
子どもたちの居場所 があります。

富岡ゴロ寝読書プロジェクト

富岡まちづくりセンターの和室で、「和室×本×遊び」を融合させた『新しい形の子どもの居場所」事業がスタートしました！ リラックスした雰囲気の中で子どもたちが「大好きな本」と出合えるような素敵な空間を一緒に作りませんか？

「公園と家の中間に」

広い畳 ゴロリ読書

所沢で スタート 子どもに居場所を

子供たちが自由なスタイルで本に触れることができるスペース「富岡ゴロ寝読書プロジェクト」が26日、所沢市北岩岡の富岡まちづくりセンターで始まった。広い和室で寝転びながら、読書ができる。所沢図書館富岡分館、子供たちの居場所づくりなどを支援する同市のNPO法人「みんなのひろば」が、日程を設定して取り組む。

富岡地区は同市北部に位置し、畑や住宅地などが広がる。小学校3校と中学校1校がある一方、市民意識調査などでは「子供たちの遊ぶ場所が少ない」といった意見が寄せられてきた。

同センターは1階の三つの部屋に、合わせて54畳の和室を持ち、2階には蔵書約5万冊の富岡分館が入る。粕谷紀美センター長は「和室と本、遊びを融合させた事業ができるのではないかと考えた」と動機を語る。

子供たちがそれぞれのスタイルで本に触れることができる「富岡ゴロ寝読書プロジェクト」＝26日午後、所沢市北岩岡の富岡まちづくりセンター

26日に開放された和室には、座布団や脚の低いテーブルが置かれ、富岡分館が所蔵する絵本や図鑑、なぞなぞといった子供向けの書籍約100冊が並べられた。富崎祐美子分館長は「緊張しない空間で気軽に本と親しんでほしい」。子供たちからは本のリクエストも募集する。

時間は午後3時から2時間とし、入退室は自由。対象者は富岡地区の小中学生とその保護者として「誰にでもオープンにしたい」（粕谷さん）という。訪れた小学2年の男児（8）は「畳が良い」と話した。

同NPOの原田史子代表理事（35）は「公園と家の中間のような場所にしたい。子供たちが自主的に創造している場所になるといい」と展望する。

プロジェクトは2月2日と16日、3月8日と22日にも、それぞれ行われる。開催日時は3月に決めていく方針だ。（中嶋基人）

※令和6年1月28日付の埼玉新聞にも掲載されました
（記事使用承諾済）

〈開催日〉 6月14日(金)・28日(金)

〈時間〉 午後3時～午後5時

〈会場〉 富岡まちづくりセンター・和室

〈対象者〉 市内 未就学児・小学生
中学生、その保護者

～夏休み期間の開催日時～
※開催時間が変わります

〈開催日〉 7月26日(金)
8月 9日(金)・23日(金)

〈時間〉 午前9時30分～正午

宿題を持ってきてくれたら、
宿題もできるよ！

〈問い合わせ〉

事業に関すること：富岡まちづくりセンター(所沢市北岩岡117番地の1)　☎ 04-2942-3110

図書に関すること：所沢図書館富岡分館(富岡まちづくりセンター2階)　☎ 04-2943-3636

共催：富岡まちづくりセンター・所沢図書館富岡分館・特定非営利活動法人みんなのひろば